

# 省庁連携の宿泊型体験活動

## 民間リーダー育成が重要

### 子ども

どもたちに一週間単位の体験学習を通じて豊かな人間性を

自然体験は子どもたちの自立を促すのに効果的だといわれている。

果的な宿泊体験をしていくかノウハウを積み上げていく。国や県の青少年などの施設を活用することも

施設整備も大切だが指導者、体験活動のリーダーになってくれる人を育成しなければ研修地域に選ばれない。先月、福井市内で行われた「地域コアリーダー養成会」には県内のNPOやボランティア団体、行政、学校関係者が六十人が参加。個々の団体がこれまで取り組んできたことを紹介。行政を含め参加団体が互いにかを話し合った。

算も紹介された。■地域住民の協力も不可欠■本県の民間団体は中核となる指導者の養成方法などを調査研究する取り組みを本年度、国から委託され取り組んできた。リーダー養成会でも実践的な活動プログラム作りが行われた。全校実施は各県十校程度のモデル事業でプログラム開発など試行錯誤を行ってからになる。

はくもという事業が新年度からスタートする。文科省だけでなく総務省、農水省など省庁と地域の自然文化活動に携わる団体が連携して実施していく。これまでにない取り組みとして注目したい。先月、福井市内で県内の自然活動を行っている五グループが集まり、中心となるコアリーダー研修が行われた。同事業が本県でもスムーズに実施されていくために民間のリーダーの育成が不可欠になる。

修授業はあったが、新たに一週間の宿泊型の体験活動を推進する。計画では全国各都道府県で十カ所のモデル校を選び実施、五年後には全校に広げたいという。

不規則な生活になれている子どもに規則正しい生活を身につけてもらい、朝食抜きの子どもには食生活の活性化にもつなげたい。

■都会からの研修受け入れも■高齢化する農山村地区に子どもたちが長期宿泊研修することで地域の活性化にもつなげたい。

■都会からの研修受け入れも■県内の子どもたちの研修の場の確保という側面もあるが、京阪神など都会からの研修受け入れを積極的に考えてもよいのではないかと。小学生時代に本県の自然を体験、愛着を感じてもらうことは、長い目で見た地域イメージのアップにつながる。それには研修期間中に楽しい思い出をたくさんつくってもらう必要



■多様なプログラムを作成■省庁連携体験活動ネットワーク推進プロジェクトは、複数の省庁と地域の関係機関、団体が協働し多様な体験活動プログラムを開発し実施していくことを目指している。農業や

重要性を教える大切な機会となる。今後五年間で農山漁村での宿泊体験の受け入れ態勢の整備を進めていくことを目指している。合わせて効

文科学の担当官や農水省、国交省の職員からは農業体験や森林、河川環境教育など国が考えている施策の方向が示された。いずれも自然な研修施設となる地域住民の理解と協力が不可欠。



(四戸友也)